

<ごみ>

プログラム名	4-1 「奈良市の家庭ごみ」の出し方・分け方
講師名	千葉 佳一
内容	①燃やせるごみ<週2回>(厨芥ごみ、残飯、ボロ、紙くず、ティッシュ、紙おむつ、落ち葉・雑草、木くず、ビデオテープ、カセットテープ、固めた食用油、発泡スチロールなど)、②燃やせないごみ<月2回>(金属製品、フラ製品、革製品、陶器、ガラス類の不燃性ごみ・傘、靴、はさみ、包丁、フライパン、なべ、食器、おもちゃ、ドライヤ、トースター、ファックス、電話機、バケツ、靴など)③プラスチック製容器包装ごみ・フタマークのついている容器包装<週1回>(ペットボトルのふた、菓子袋、カップめん等の容器、食品トレイ、レジ袋、弁当の容器など)④再生資源ごみ<月1回>(食糧用空き缶、スプレー缶)、ビン(透明・青・緑の食糧用ビン)、ペットボトル、紙パック⑤大型ごみ<2か月以上1回>((タンス、畳、机、衣装ケース、剪定枝、すだれ、布団、毛布、物干し竿など)⑥有害ごみ<2か月以上1回>水銀ごみ(乾電池、蛍光灯、水銀体温計)などを具体的に説明。適正なごみの出し方を啓蒙!
対象	幼稚園児、小学生、中学生、高校生、大学生、大人・市民(自治会、連合会)
時間	30分~1.5時間
形式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	-
備考	「奈良市のごみ事典」を配布希望。幼児や子供には歌とマンガで楽しく説明する。

プログラム名	4-2 廃棄物処理法について考える
講師名	西野 保
内容	家庭や企業で発生する一般廃棄物や産業廃棄物の定義、廃棄物処理法や家電リサイクル法などの実情やリサイクルを通じて廃棄物削減のヒントについて一緒に考え、理解を深めましょう。
対象	大人(一般市民、企業担当者)
時間	30分から60分
形式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	配布資料は実費になります。
備考	パワーポイントを用います。

プログラム名	4-3 家庭でできる生ごみ減量方法
講師名	吉田 征八郎
内容	ダンボールコンポストを使って、簡単低コストで家庭でできる生ごみ減量の方法を知ることにより、環境保全への意識を高めてもらう。
対象	小4~高2、大人(親子)
時間	60分~120分
形式	講義・体験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	-
備考	-

プログラム名	4-4 ダンボールコンポストでできた肥料の活用方法
講師名	吉田 征八郎
内 容	ダンボールコンポストによって、生ごみが4ヶ月後有機肥料に変わります。有機肥料活用のための菜園講座を開催する。(プログラム4-4と内容つながりがあります。)
対 象	小4～高2、大人(親子)
時 間	60～120分
形 式	講義・体験
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	—

プログラム名	4-5 ゴミのゆくえを探ろう
講師名	北浦 由香
内 容	あなたが出したごみは、どこへ行くのかな？ 消えてなくなりはしないゴミのゆくえをゲームをしながら探ります。
対 象	小学生
時 間	90分
形 式	講義とワークショップ
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	—

プログラム名	4-6 事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の排出事業者責任と適正処理について
講師名	千葉 佳一
内 容	①廃棄物処理法等の環境関連法の説明 ②廃棄物の分類(事業系一般廃棄物、産業廃棄物)を説明 ③廃棄物の排出事業者責任と適正処理について説明 ④奈良市と奈良県の廃棄物行政を説明 ⑤奈良県等が実施している事業者向けの廃棄物対策制度について解説する。特に奈良市の事業系一般廃棄物にかかる取り扱いについても説明する。
対 象	事業者(特に多量排出企業)の担当者及び責任者
時 間	1～2時間
形 式	講義
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	パワーポイントを使って講義する。レジメの一部を配布も可

プログラム名	4-7 企業の廃棄物対策
講師名	千葉 佳一
内 容	①廃棄物の分別、廃棄物の削減、廃棄物の利活用(再使用、再循環等)について調査・指導する。②廃棄物の適正処理(収集運搬、保管、中間処理、最終処分)について調査・指導する。③廃棄物処理法等(委託契約、マニフェスト管理)を遵守しているかを調査・指導する。
対 象	事業者(特に廃棄物多量排出企業)の担当者及び責任者
時 間	1～3時間
形 式	調査
参加費 (材料費、活動保険代、資料代など)	—
備 考	事業所内の廃棄物対策を調査して改善点を指摘する。